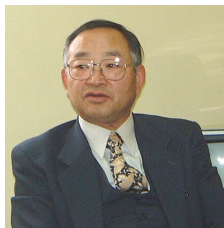


たかひこ通信

9月町議会定例会が9月10日から20日まで開かれます。一般質問は17～18日です。ご意見・ご要望をおよせいただければ幸いです。

部内資料 たかひこ通信 No. 28
2013/8/25 〒399-8601 長野県北安曇郡池田町大字池田3089-4
薄井孝彦 Tel・Fax 0261-62-5093
mail: peacea@peach.plala.or.jp
http://web-ariakesan.com/



いつも元気で
にこやかな
木曾町田中町長

8月21日、長野県共産党議員会議が下諏訪町で開かれ、田中勝己町長の講演を聴きました。田中町長には3年半前に共産党ファンクラブの主催で池田町へおいでいただき、「木曾福島町・木曾町の町づくり」の演題で講演していただきました。2回目講演でしたが、田中町長の人間的大きさ、研究や実践に裏付けられた理念の素晴らしさに感動しました。田中町長は30歳から30年間町議会を勤め、60歳から16年間町長を勤めました。この11月26日をもって勇退されるそうです。最後の話を聞けて本等に良かったと思います。講演で心に残ったことは次のとおりです。

「住民が主人公の町づくり」を追求した
木曾町田中町長

議員活動では保守系議員ともよく話し合いました。仲良くやってきた。町長1期目にはオカルト集団オウムとの戦いを全国で初めて実行した。町職員の意識を変えるため全国の街づくりに成功した町、失敗した町を職員とともにみてまわり意見交換をした。町の総合計画・商店街の活性化対策は参加したい町民で1年間かけて提案を出し、基に進めた。2期目のスローガン「合併しても、なお輝く自治の町」を実現する方策を4ヶ月間文献を読み、先進地事例を視察研究して独自の地域自治組織の考えを作った。地域住民の代表の会議で了解が得られた案件でなければ議会上程できない仕組みを作り、住民の提案権と町長権限の抑制を図った。民主主義の原点として、町の情報公開は計画段階から行うこと

私の行動日誌・予定

- ・8月1日 地方議員研修会
- ～8月2日 於：大阪国際交流センター
- ・8月6日 池田町防災無線プロポーザルに関する調査特別委員会（100条委員会）役員会
町民の皆さんと議会との意見交換会（多目的研修センター）
- ・8月8日 農業再生協議会視察（宮田村、飯島町）
- ・8月9日 議会改革特別委員会
- ・8月12日 池田・松川・生坂
県道改良既成同盟会陳情、総会
- ・8月15日 成人式（創造館）
- ・8月17日 観光案内ガイド
- ・8月19日 大北共産党議員団会議
- ・8月20日 100条委員会
- ・8月21日 共産党議員研修会
- ・8月22日 てるてる坊主アート展審査
- ・8月27日 議会改革推進委員会
100条委員会
- ・8月28日 集落営農法人化研修会
池田・生坂議員研修会



【感想】

田中町長の言葉「町

とにした。総合コミュニティセンターの建設は町で案を作り2年間説明したが、反対運動が起った。住民投票で町民の意思を確認したところ建設反対が多数を占めたので町案は白紙に戻し、町民の皆さんにどうしたらよいか検討していただきました。検討委員会は町民66人で立ち上げた。1年間研究したこの7月に答申を出した。その内容が、私の「魂が入った良い答申」と評価した。

づくりは、行政がどんなに良い方針を出しても、町民が立ちあがらない限り成功しない。は重みがある言葉だと思います。池田町の社会資本総合計画も町民が真剣に考え、意見を出し合う中から合意点を見出していくことが重要です。なお、木曾町の総合コミュニティセンターは公民館・図書館・一部庁舎を入れた複合施設で、総工費12億円の計画（起債10億円Ⅱ合併特例債・過疎債の活用、町費2億円）と聞いています。木曾町は検討委員会の答申を基に計画案を作り直し、町民の承認を得てからの工事着手を考えているそうです。

8月1～2日、地方議員研修会が大阪で開かれ参加しました。大阪市立大学准教授の松永桂子先生から中国地方の限界集落地域での高齢者による地域起こしの成功例について説明がありました。広島県安芸高田市川根地区の地域自治組織の取り組み（スーパーマーケット・ガソリンスタンド・ゆず加工組織の立ち上げ）のバス運行、デイサービスの実施など）には驚きました。知恵と情熱で地域興しができることを知り、勇気をいただきました。

中国地方の過疎地域に、新しい風が